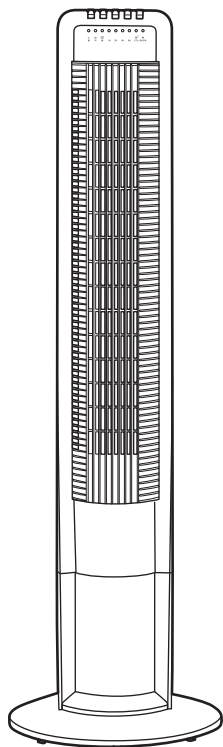


ハイタワーファン リモコン式 QIR-382

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあと、もいつでも見られるように大切に保存してください。

※ 本機はお客様組み立て商品となっています。



も く じ

安全上のご注意	…P1 ~ P2
各部の名称とはたらき	…P3 ~ P4
組み立てかた	…P5
正しい使いかた	…P6 ~ P9
お手入れと保存	…P10
修理・サービスを依頼する前に	…P11
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	…P14
アフターサービスについて	…裏表紙
保証書	…裏表紙



仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	50Hz : 32W/60Hz : 38W
電源コード長さ	約 1.8 m
外形寸法	約 幅 32.5 × 奥行 32.5 × 高さ 107.8cm
質 量	約 4.1kg



- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)





図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

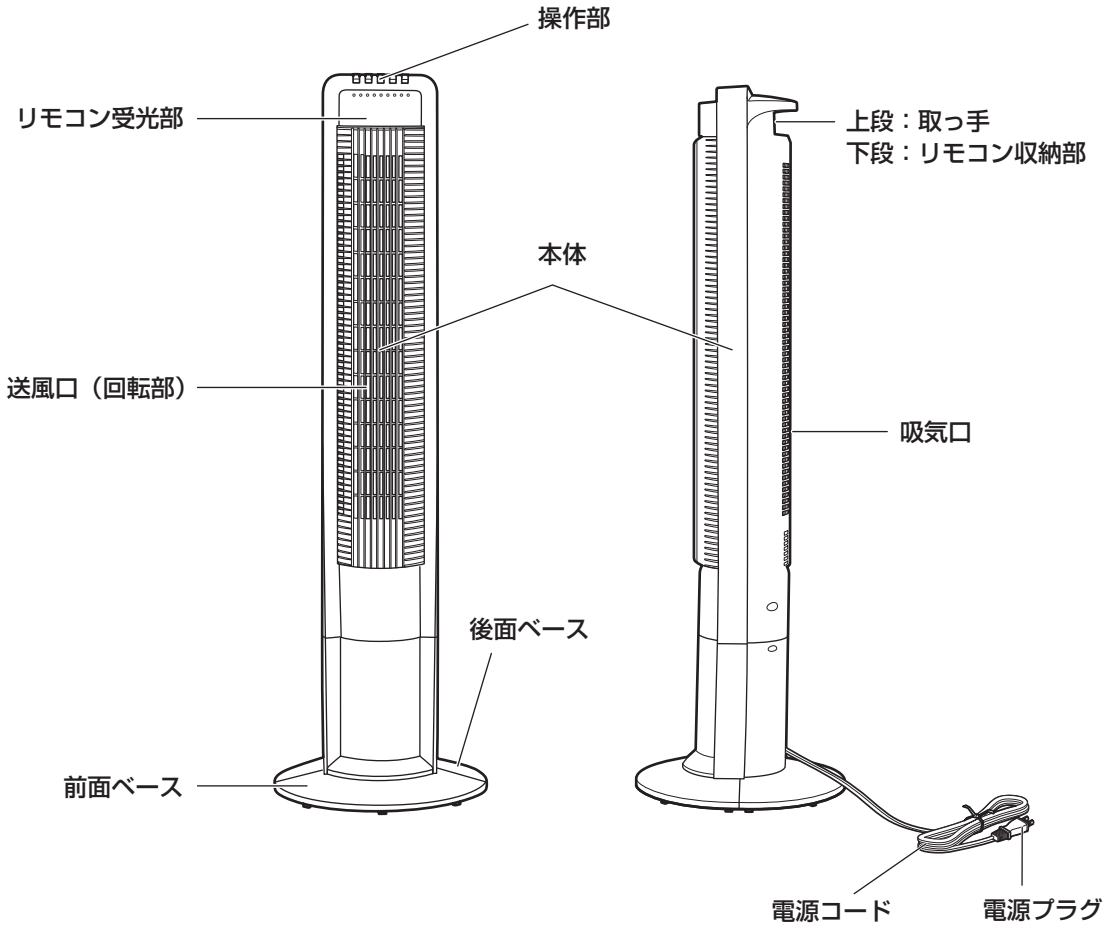
警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 禁止	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。	 プラグを抜く	使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。	
	製品の組み立てや取りはずし、お手入れの際は、電源プラグを差し込まない。 感電・けが・火災の原因になります。		本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になることがあります。	
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。	
	ベースを取り付けずに運転をしない。 けが・故障の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。		 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。		 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
		取り外しや組み立ての際、ベースをしっかりと固定する。 締めつけが不十分だったり、正しく組み立てられていないと、けが・故障の原因になります。				

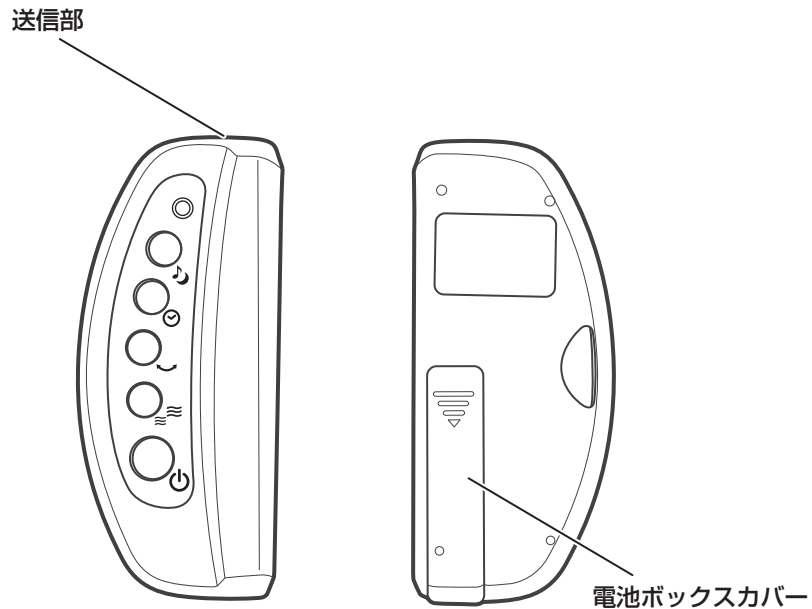
⚠ 注意

 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショートの原因になります。		送風口や吸気口に指などを入れない。 けがの原因になることがあります。	
 禁止	風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。	 禁止	不安定な場所で使わない。 けが・故障の原因になることがあります。	 禁止
	ベースを引きずらない。 床が傷つく原因になることがあります。		髪を送風口や吸気口に近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをする恐れがあります。	次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になることがあります。 お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。

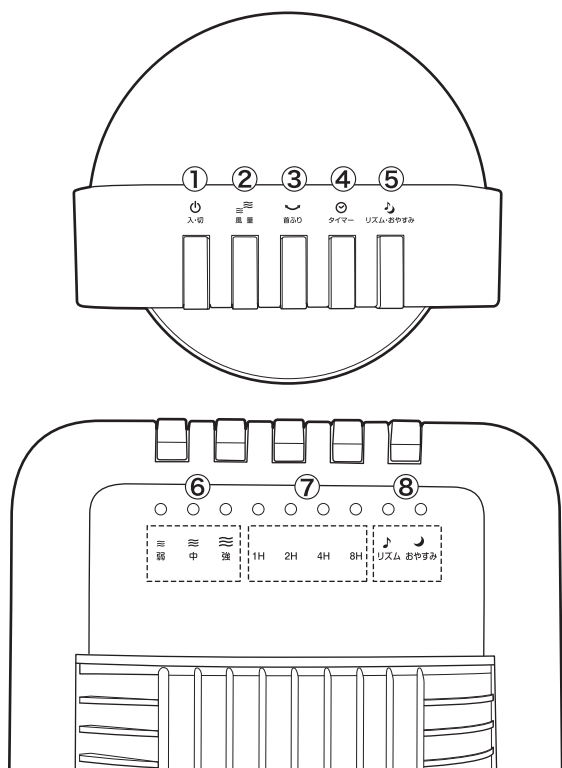
各部の名称とはたらき



リモコン

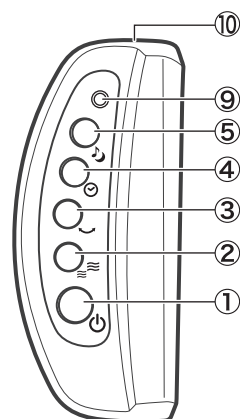


本体操作部



- ① 入/切ボタン
運転を開始（弱風で運転）／停止します。
- ② 風量切替ボタン
運転中の風量を切り替えます。
- ③ 首振りボタン
首振り運転を開始／停止します。
- ④ 切タイマーボタン
切タイマーの開始／停止／切タイマー時間の切り替えをします。
- ⑤ リズム／おやすみ風ボタン
リズム／おやすみ風の開始／停止・切り替えをします。

リモコン操作部



- ⑥ 風量ランプ
運転中の風量を表示します。
- ⑦ 切タイマーランプ
切タイマーの時間を表示します。
- ⑧ リズム／おやすみ風ランプ
リズム／おやすみ風運転の表示をします。
- ⑨ 表示ランプ
リモコンに入っている乾電池の残量が充分にある場合、リモコンの各ボタンを押すごとに緑色のランプが点灯します。
※緑色のランプが点灯しなくなった場合は、新しい乾電池に交換してください。
- ⑩ 送信部
本体のリモコン受光部に向けてご使用ください。

組み立てかた

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1 個	リモコン	1 個
前面ベース.....	1 個	リモコン用単 4 形乾電池	2 個
後面ベース.....	1 個	取扱説明書（保証書含む）.....	1 個
ベース固定ネジ（本体に取付済）.....	3 個		

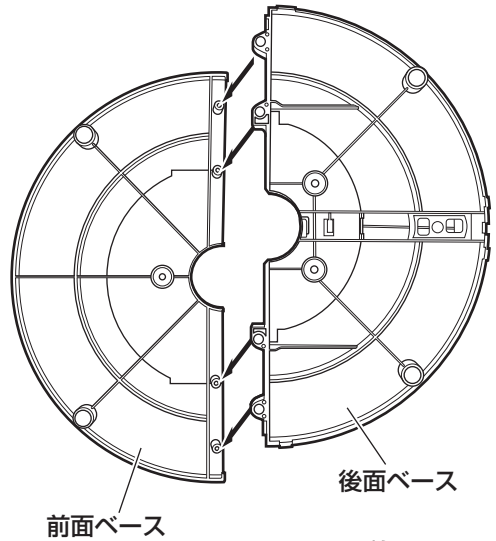
※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。

1. 本体底面に取り付けられているベース固定ネジを取りはずす

本体を横にして、本体底面に取り付けられているベース固定ネジ 3 個を取りはずしてください。

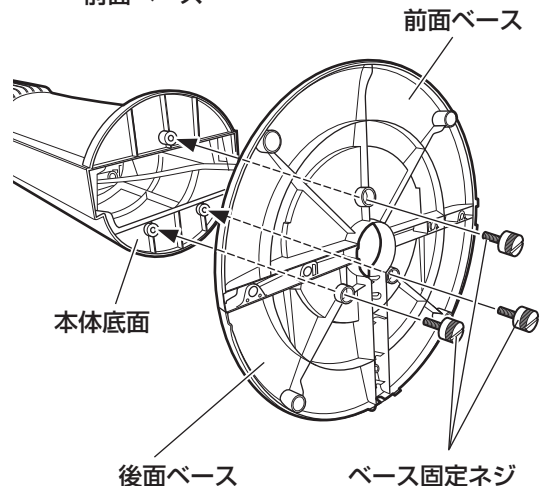
2. ベースを組み立てる

ベースを裏向きにし、前面ベースの突起（4箇所）に後面ベースの穴（4箇所）を合わせてしっかりと差し込んでください。



3. 本体にベースを取り付ける

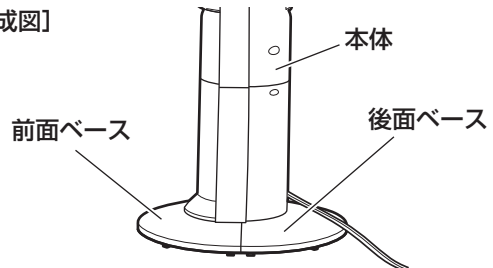
送風口が上側になるように本体を横にして、前面ベースが上側になるように本体とベースの取り付け穴（3箇所）を合わせ、ベース固定ネジ 3 個でしっかりと固定します。



※組み立ては机などの台の上で行ってください。机などを傷付けないよう注意してください。

⚠ 注意	本体とベースの間に電源コードを挟みこまない。 火災や故障の原因となることがあります。
-------------	---

[完成図]

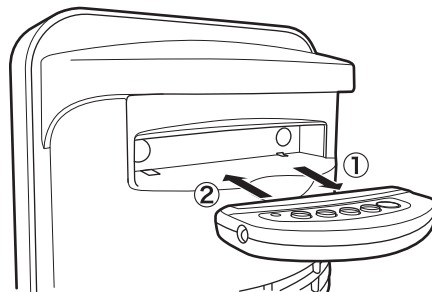


正しい使いかた

リモコンについて

リモコンの取りはずし／収納

- ① お買い上げ時、リモコンは本体背面上部のリモコン収納部に収納されています。ご使用の際は収納部より取りはずして、ご使用ください。
- ② 収納の際は図の向きで本体のリモコン収納部に収納してください。

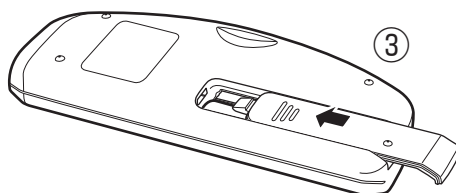
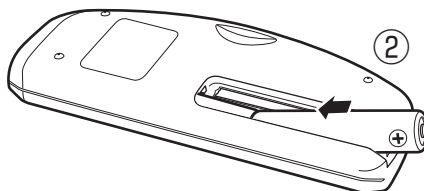
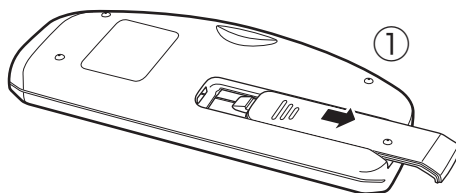


乾電池を入れる

下記の手順で付属の乾電池（単4形乾電池）を入れてください。

- ① リモコンの電池ボックスカバーは、指でかるく押し込んでフックを解除し、スライドさせて取りはずします。
- ② 単4形乾電池2個を⊕と⊖の向きに注意して入れます。
- ③ 電池ボックスカバーを「カチッ」と音がするまで差し込みます。

※ 付属の電池は工場出荷時より放電による消耗が始まっていますので、製品の使用開始時期によって電池の寿命が異なる場合があります。



注意

- ニッケル系乾電池（オキシライド乾電池など）は使用しない。
- 新旧・異種の乾電池を混合して使用しない。
- ⊕⊖を逆に入れない。
- 長期間使用しない場合は乾電池をはずす。電池の液がもれて目に入ったり、発熱・破裂の原因になります。

使用可能範囲

- 本体正面から直線で約 5m
- 本体正面から左右に約 30 度



注意

- リモコンはリモコン収納部より取りはずしてから使用する。
リモコン収納部に収納したままでは操作できません。リモコンを収納部より取りはずし、リモコンの送信部を本体のリモコン受光部に向けてご使用ください。
- リモコンと本体の間に障害物がある場合は、リモコンが正常に動作しないことがあります。

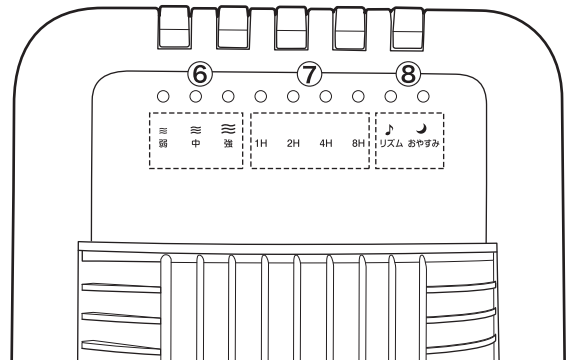
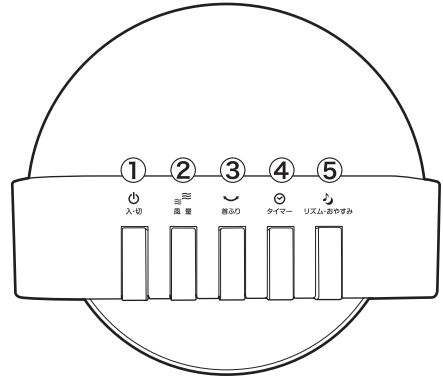
正しい使いかた（つづき）

使用前の準備

- ① 入/切ボタン
運転を開始（弱風で運転）/停止します。
- ② 風量切替ボタン
運転中の風量を切り替えます。
- ③ 首ふりボタン
首ふり運転を開始/停止します。
- ④ 切タイマーボタン
切タイマーの開始/停止/切タイマー時間の切り替えをします。
- ⑤ リズム/おやすみ風ボタン
リズム/おやすみ風の開始/停止・切り替えをします。

設定を変更するたびに以下の表示部に緑色のランプが点灯します。

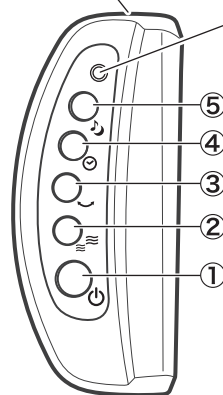
- ⑥ 風量ランプ
運転中の風量を表示します。
- ⑦ 切タイマーランプ
切タイマーの時間を表示します。
- ⑧ リズム/おやすみ風ランプ
リズム/おやすみ風運転の表示をします。



1. 本体を安定した水平な場所に設置する
本体が正しく組み立てられていることを確認してください。
2. 電源プラグをコンセントに差し込む

送信部

本体のリモコン受光部に向けてご使用ください。



表示ランプ

リモコンに入っている乾電池の残量が充分にある場合、リモコンの各ボタンを押すごとに緑色のランプが点灯します。
※緑色のランプが点灯しなくなった場合は、新しい乾電池に交換してください。

運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

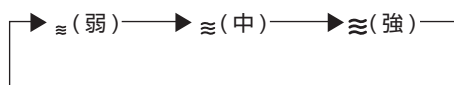
本体またはリモコンの[☺ 入／切ボタン]を押すと弱風で運転を開始します。

2. 風量を切り替える

運転中に本体またはリモコンの[≡ 風量切替ボタン]を押すと風量設定が切り替わります。

- ボタンを押すたびに、風量設定が右のように切り替わります。

※ 設定された風量ランプが点灯します。



3. 首ふり運転を開始／停止する

運転中に本体またはリモコンの[~ 首ふりボタン]を押すと首ふり運転を開始します。

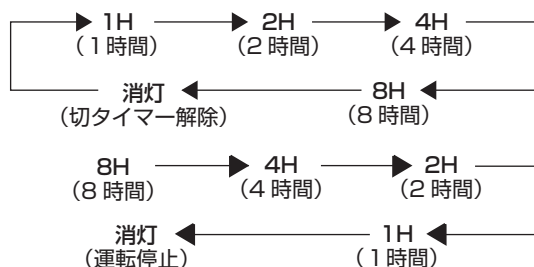
もう一度押すと、首ふり運転を停止します。

4. 切タイマー（時間）を設定する

運転中に本体またはリモコンの[⊙ 切タイマーボタン]を押すと、切タイマーランプが点灯し、切タイマーが設定されます。切タイマーは最長 8 時間まで設定できます。

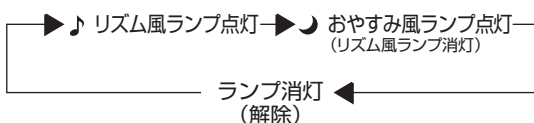
- 切タイマーランプは、本体またはリモコンの[⊙ 切タイマーボタン]を押すごとに右のように切り替わります。

- 切タイマーを設定したのち、時間の経過とともに切タイマーランプが移り変わり、切タイマーが働くまでの時間を表示します。



5. リズム／おやすみ風の機能を作動させる

運転中に本体またはリモコンの[♪ リズム／おやすみ風ボタン]を押すと機能が切り替わります。



リズム／おやすみ風機能について

- **リズム風** (♪ リズム風ランプが点灯)

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

[≡ 風量切替ボタン]を切り替えることで風量パターンが変化します。

- **おやすみ風** (🌙 おやすみ風ランプが点灯)

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

[≡ 風量切替ボタン]を切り替えることで次のように風量パターンが変化します。

(≡ 強風時) 強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。

(≡ 中風時) 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。

(≡ 弱風時) 弱リズム風 と同じです。

正しい使いかた（つづき）

6. 運転を停止する

運転中に本体またはリモコンの[⏻ 入/切ボタン]を押すと運転が停止します。

※再度[⏻ 入/切ボタン]を押して運転を再開した場合はメモリー機能が働いて、前回運転を停止したときと同じ設定の风量・首振り運転を開始します。

ただし切タイマーは解除された状態になり、メモリー機能は働きません。

リズム/おやすみ風では

●リズム風選択時 …… 運転を停止した後、再度運転を再開した場合はメモリー機能が働きます。

●おやすみ風選択時 …… 運転を停止した後、再度運転を再開しても、おやすみ風は解除された状態になり、メモリー機能は働きません。

※運転が停止している状態では[⏻ 入/切ボタン]以外のボタンを押しても作動しません。

7. 電源プラグをコンセントから抜く

※メモリー機能はすべて解除されます。



警告

使用後は電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。

お手入れと保存



お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ・本体に水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

本体のお手入れ

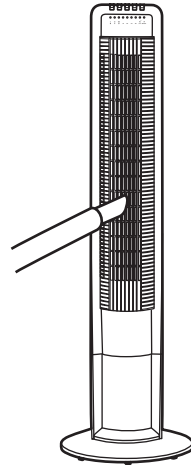
本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

送風口・吸気口のお手入れ

送風口と吸気口についたホコリは、すきま用ノズルなどを取り付けた掃除機などで取り除いてください。

保存のしかた

- ・お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ・ポリ袋などをかぶせ、湿気のない場所に保存してください。
- ・お買い上げの商品が入っていた箱に入れて保存する場合は、5ページ「組み立てかた」と逆の手順で分解してください。



修理・サービスを依頼する前に

⚠警告 修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな？」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	• 電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
	• [⏻ 入/切ボタン] を押していない	[⏻ 入/切ボタン] を押す
リモコンから操作できない	• リモコンの乾電池が切れている	新しい乾電池に交換する
	• 乾電池の⊕⊖が逆になっている	乾電池を正しく入れる
風の吹き出しが弱い	• 吸気口や送風口にホコリがたまっている	ホコリを掃除機などで取り除く
	• 吸気口をふさいでいる	<ul style="list-style-type: none"> • 吸気口をふさがない • 吸気口をふさいでいるものを取り除く

長年ご使用の扇風機はよく点検を

このような症状はありませんか？

- 電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- 電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- こげ臭い匂いがする。
- その他の異常・故障がある。

このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。


MEMO

MEMO

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	[製造年] (本体に西暦4桁で表示してあります) [設計上の標準使用期間] (本体に表示してあります)
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■ 標準使用条件 (JIS C9921-1による)

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz/60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷(風速)	
規定時間 など	運転時間	8h/日	
	運転回数	5回/日	
	運転日数	110日/年	
	スイッチ操作回数	550回/年	
	首振運転の割合	100%	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。